

## 水質モニタリング調査結果の評価について（第3報）

八戸工業大学環境建設工学科 福士 憲一

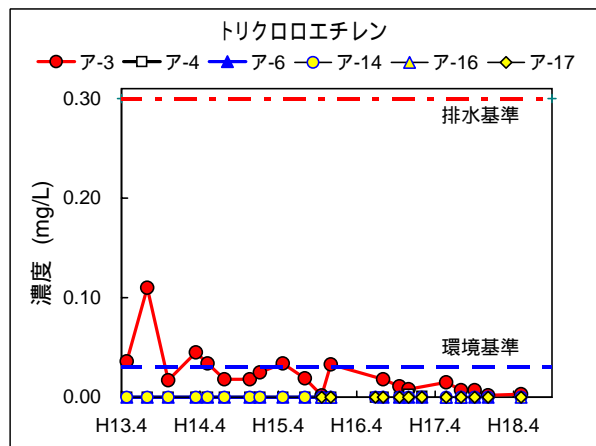
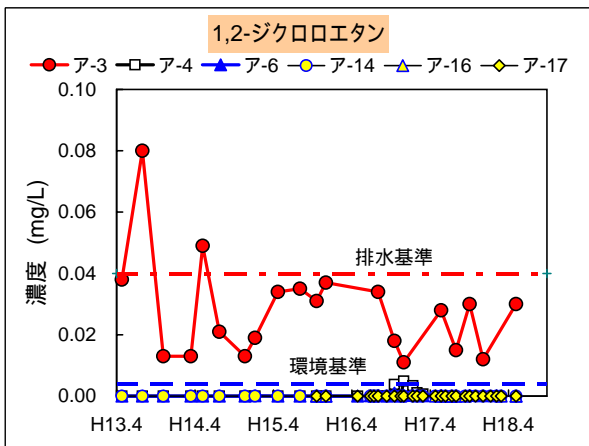
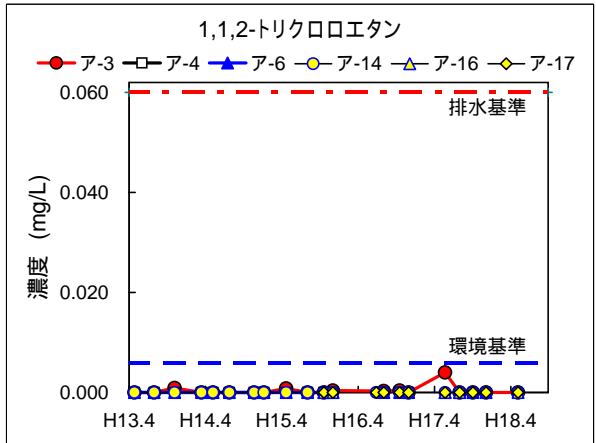
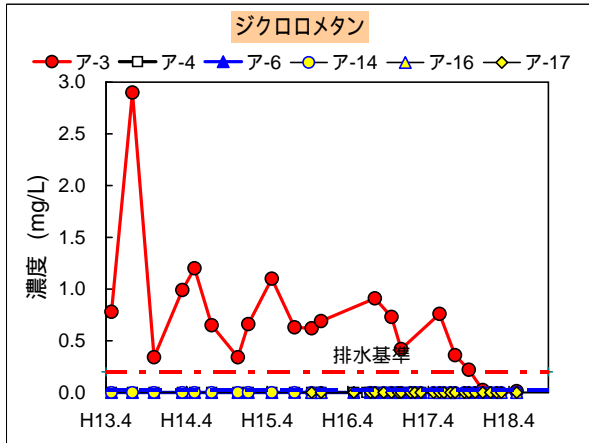
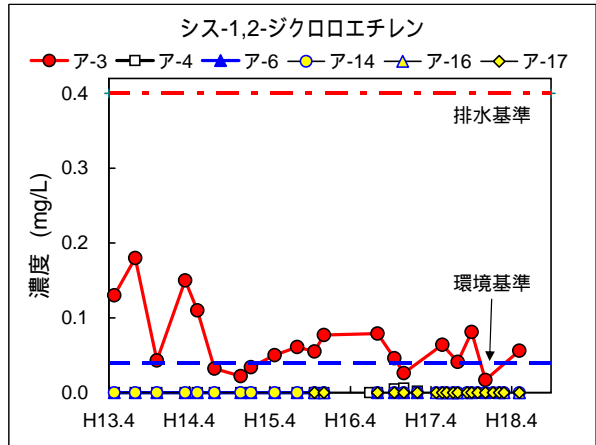
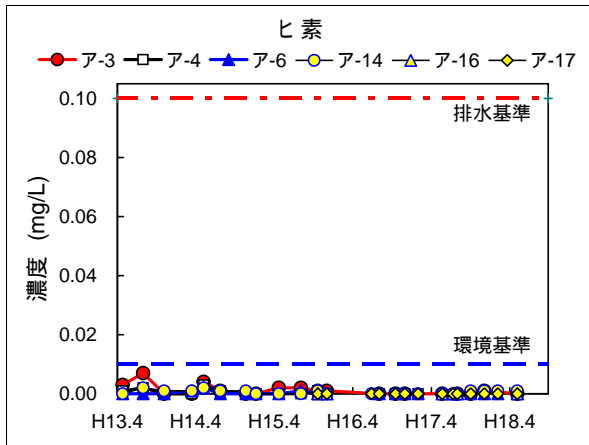
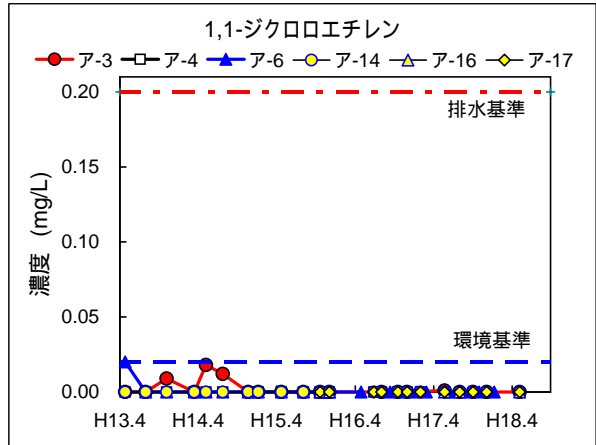
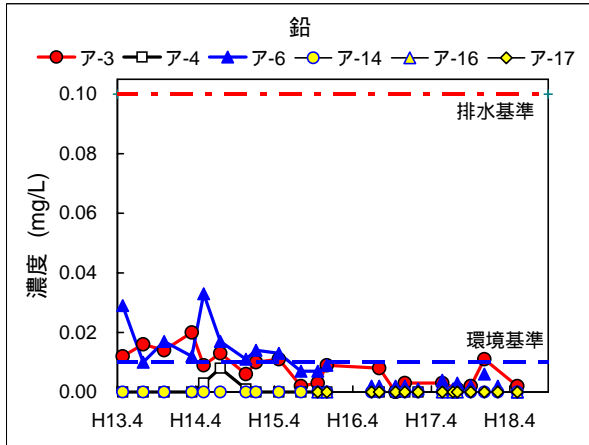
## 1. 評価の概要

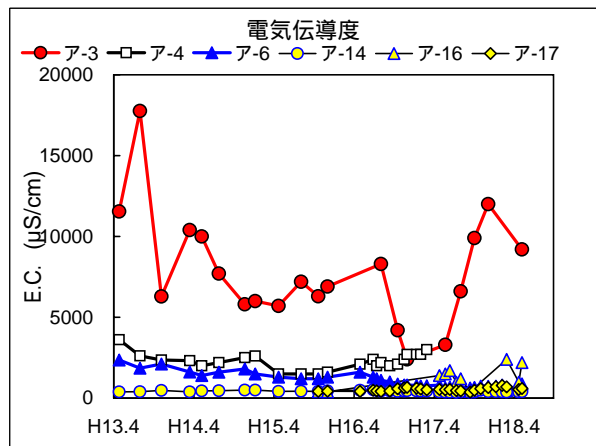
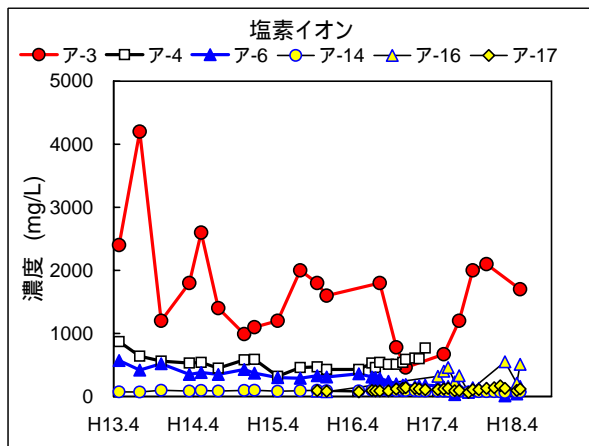
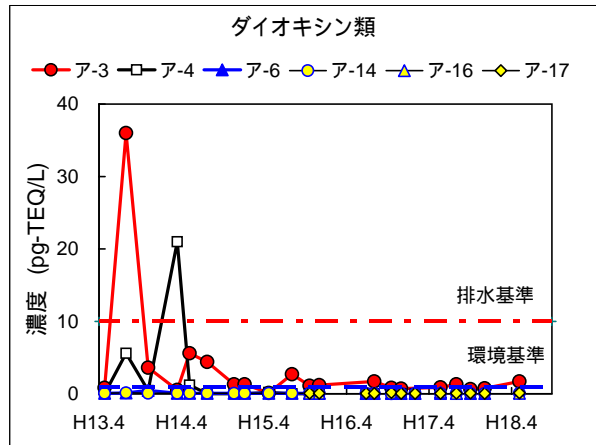
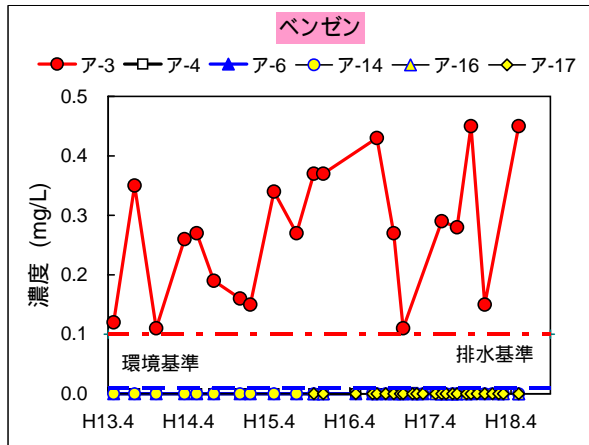
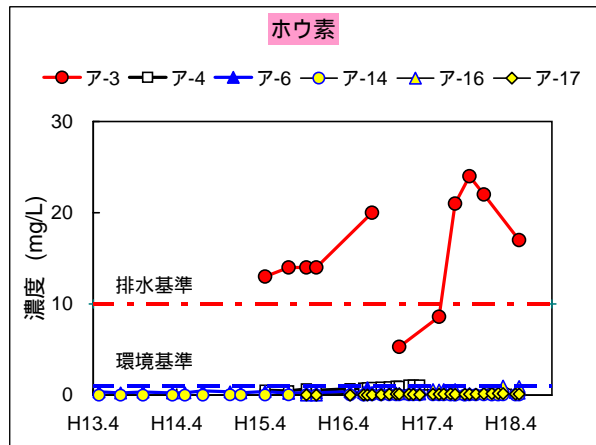
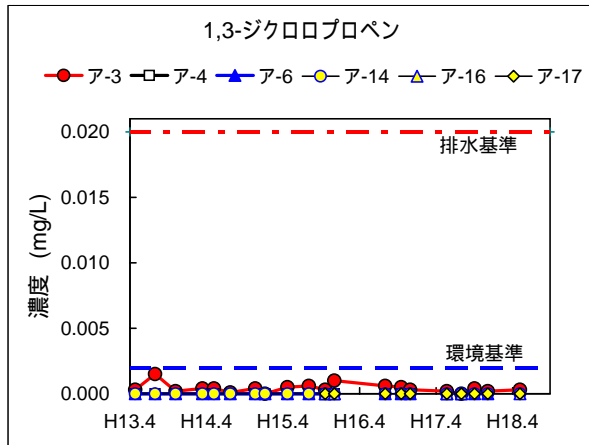
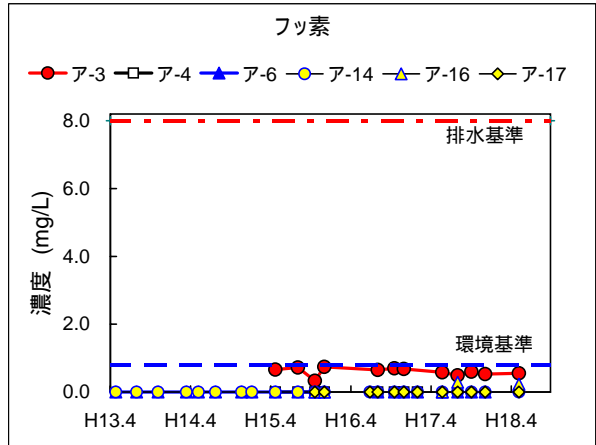
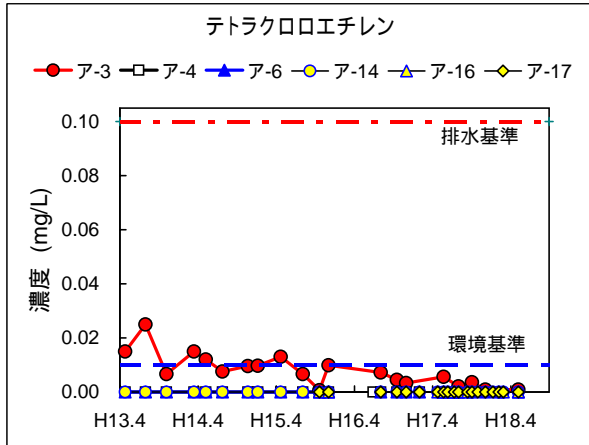
前報（第7回協議会資料、H17.2.19）に引き続き、青森県が実施している水質モニタリング調査の結果をわかりやすく図化して評価を行った。

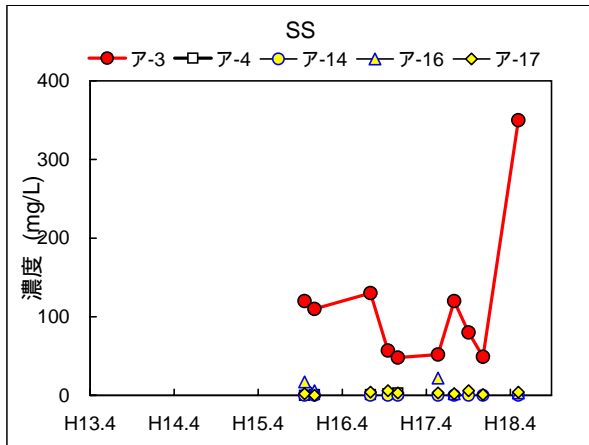
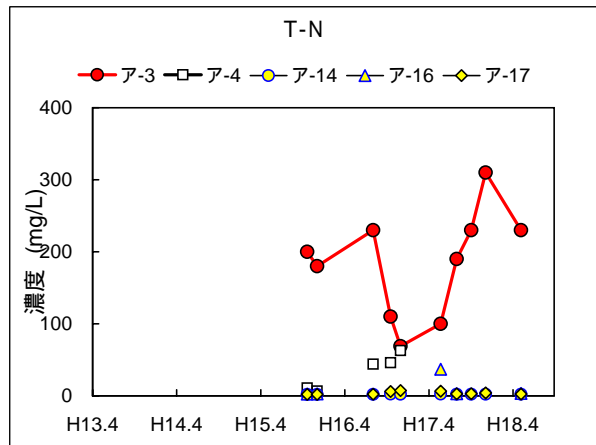
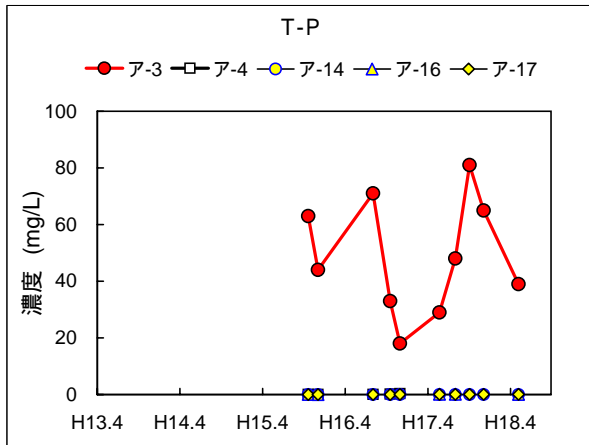
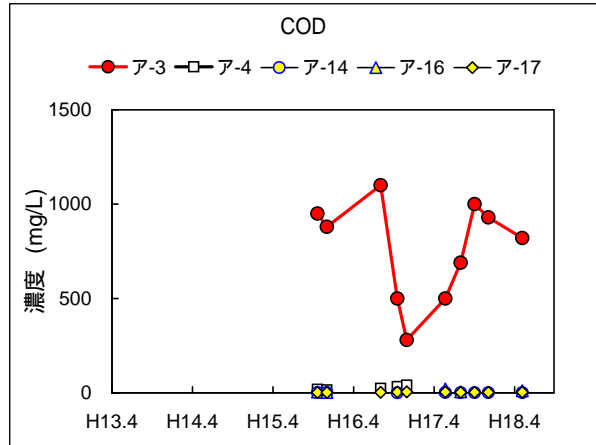
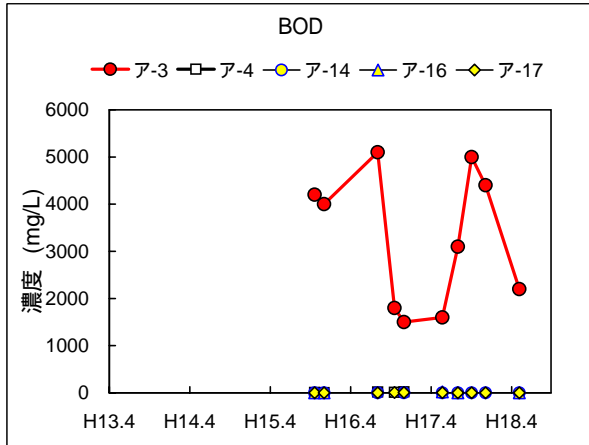
- 1) 対象期間： H13.4.26～H18.5.10
- 2) 対象地点： ア - 3（堰堤ヒューム管浸出水）～ア - 4（ラグーン末端水）～ア - 6（ラグーン脇井戸水）～ア - 14（遠瀬水源湧水）～ア - 16（放流支川上流沢水）～ア - 17（放流支川下流沢水）へ至る経路に関して結果を評価した。  
なお、ア - 4 地点は水処理施設設置により H17.3 で廃止となっている。
- 3) 評価基準： ア - 3（堰堤ヒューム管浸出水）については排水基準、その他の地点については環境基準と対比して評価した。

## 2. 結果のまとめと評価

- 1) ジクロロメタン、1,2-ジクロロメタン について  
ア - 3 地点（浸出水）について、当初は排水基準を超過していたが、最近は基準以下となっている。  
ア - 4 以下の下流地点では、当初より環境基準を満たしている。
- 2) ホウ素、ベンゼン について  
ア - 3 地点（浸出水）について、両者とも依然として排水基準を超過している。  
ア - 4 以下の下流地点では、ほぼ環境基準を満たしている。
- 3) 他の項目について  
ア - 3 地点（浸出水）で、鉛、シス-1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ダイオキシン類が検出されていた。ただし、ダイオキシン類の一部データを除き、いずれも当初より排水基準以下であり、かつ濃度が低下する傾向が見られる。  
ア - 4 以下の下流地点では、いずれの項目も当初よりほぼ環境基準を満たしている。なお、鉛については、ア - 6 地点（ラグーン脇井戸水）で当初は環境基準を超過していたが、最近では基準以下となっている。
- 4) その他  
塩素イオンと電気伝導度の値については、次第に低下する傾向が見られる。ただし、H17年度に一部上昇しており、廃棄物掘削等の影響の有無も含めて、今後も監視・検討してゆく必要がある。  
BOD、COD、T-P、T-N、SS については、調査期間が短いために傾向ははっきりしない。今後も調査を継続する必要がある。  
ほとんどの項目で、周期的な季節変動が見られる。冬季には汚濁物質の流出が抑制され、春季以降に流出が増加するような傾向がある。今後さらに調査・評価を行っていきたい。

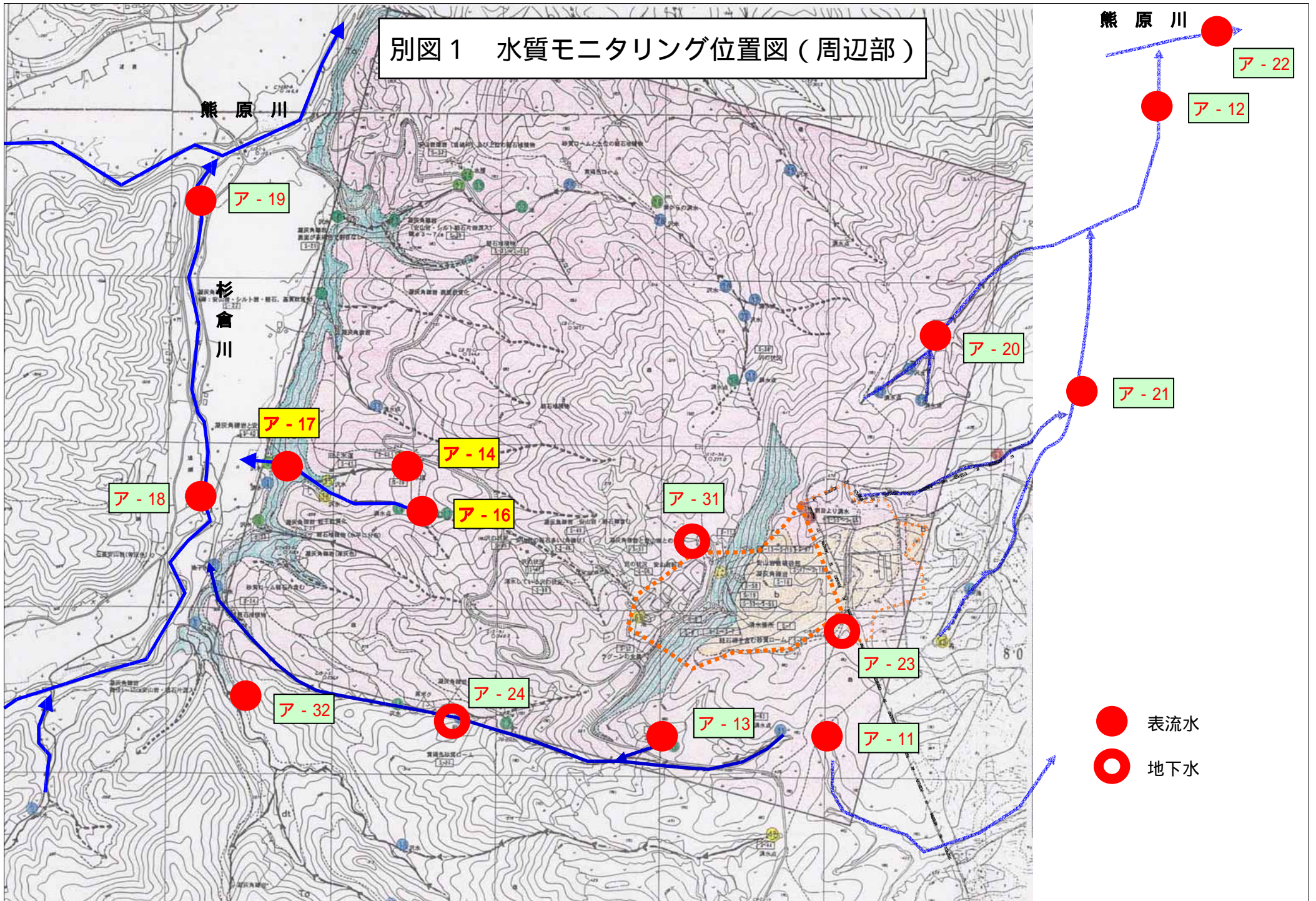








別図1 水質モニタリング位置図(周辺部)





別図2 水質モニタリング位置図(現場内)

